

蒲郡市の産学官連携に関する 意向調査報告書

令和2年3月

がまごおり産学官ネットワーク会議

目 次

1	調査の概要	3
2	調査結果	4
	(1) 回答者属性	4
	(2) がまごおり産学官ネットワークの認知度	4
	(3) 産学連携の実績について	5
	(4) 産学連携の意向について	6
	(5) 産学連携の促進に必要なことについて	8
	(6) 市内事業者の課題や取り組みたいことなどについて	9

1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、がまごおり産学官ネットワーク会議における今後の産学官連携事業の推進方法を検討するため、市内の事業者の皆様の産学官連携の実態や意向を把握することを目的として実施したものです。

2 調査対象

市内に所在地をおく事業者のうち、蒲郡商工会議所の会員、農業者のうち認定農業者及び農業経営士と農業委員、漁業組合の役員。

3 調査期間

令和元年11月1日から11月27日

4 調査方法

郵送

5 回収状況

(1) 配布数

区分	配布数
蒲郡商工会議所会員（団体除く）	1 5 7 1
農業者	1 0 7
漁業者	1 7
団体（蒲郡商工会議所会員のうち団体・蒲郡市農業協同組合部会など）	2 7
計	1 7 2 2

(2) 回収数

4 0 0 通（2 3 . 2 2 %）

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、ある選択肢の回答が全体の回答者数（n）に対してどれくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

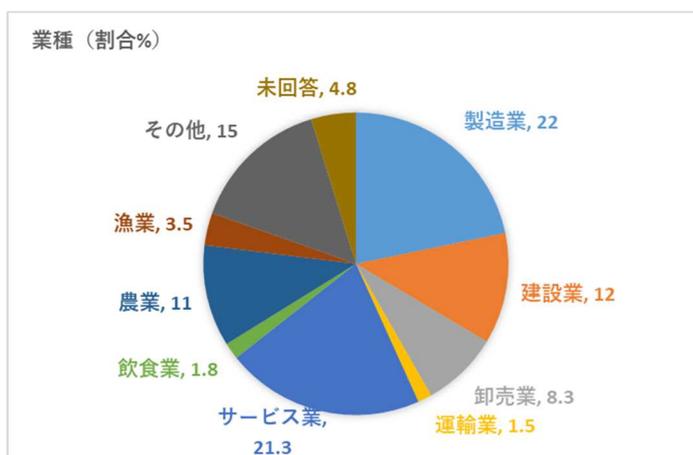
2 調査結果

(1) 回答者属性

問 あなたの仕事について教えてください

400 の回答のうち、製造業の割合が 22%、サービス業の割合が 21.3%、建設業の割合が 12%となっています。

図表 回答者の業種の割合 (%)

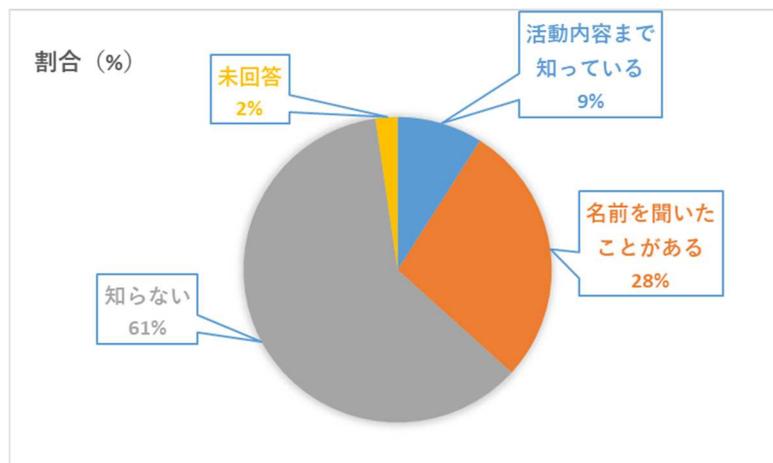


(2) がまごおり産学官ネットワーク会議の認知度

問 がまごおり産学官ネットワーク会議を知っていますか

「活動内容まで知っている」の割合が 9%、「名前を聞いたことがある」の割合が 28%、「知らない」の割合が 61%と、認知度は高いとは言えません。

図表 がまごおり産学官ネットワーク会議の認知度 (%)

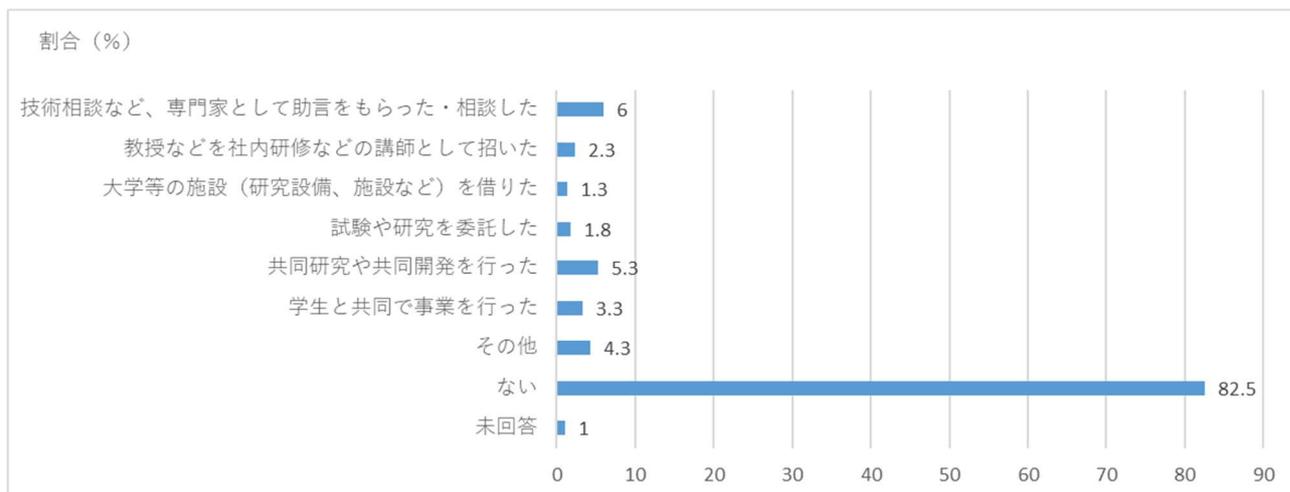


(3) 産学連携の実績について

問1 今までに団体として大学、高校を利用したり、連携をしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○印)

「ない」の割合が82.5%で最も高く、ほとんどの事業者が産学連携や産学官連携の実績がないという結果になっています。

図表 産学官連携の実績 (%)



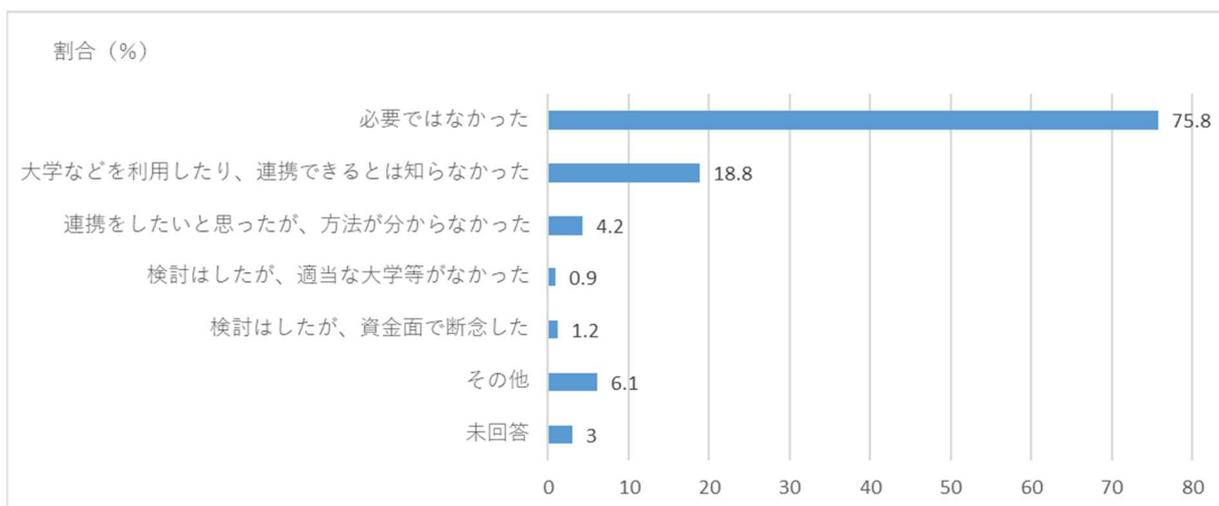
※その他…大学の施設見学や、大学から試作の依頼や指導の依頼を受けた、など

問2 問1で「ない」と回答された方は、その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

問1で「ない」のと回答された330の回答者のその理由は、「必要でなかった」の割合が75.8%で最も高く、「大学などを利用したり、連携できるとは知らなかった」の割合が18.8%と続いています。

検討はしたが、断念したという割合は3%以下となっています。

図表 産学連携をしない理由 (%)



※その他…業種・店としてできない、考えたこともない など

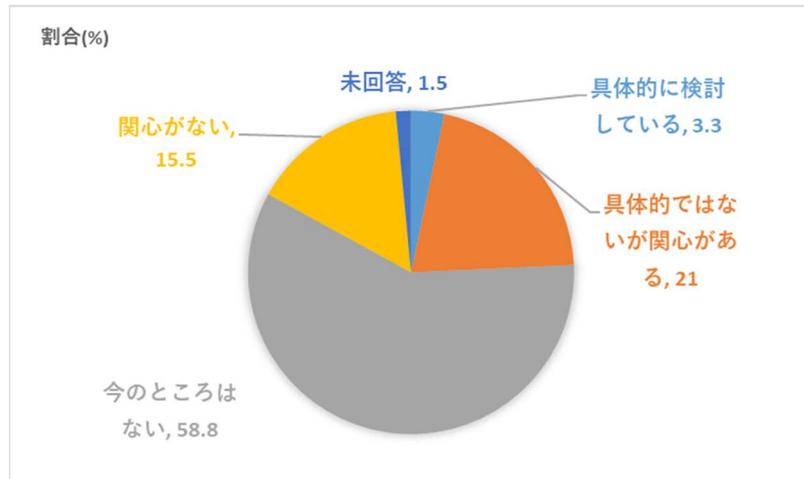
(4) 産学連携の意向について

問1 これから、大学、高校を利用したり、連携したいと思う内容がありますか。(1つに○印)

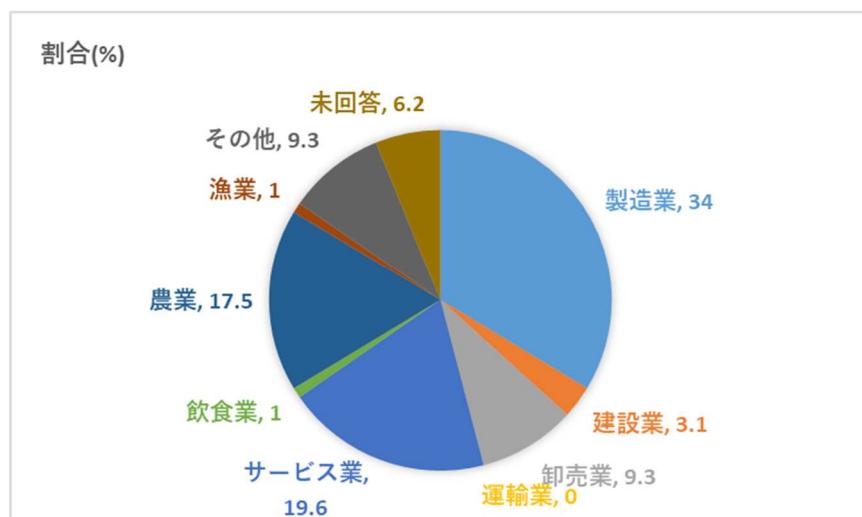
「具体的に検討している」の割合が3.3%、「具体的ではないが関心がある」の割合が21%となっており、関心があるという回答をあわせて24.3%となっています。

一方、「今のところはない」の割合が58.8%、「関心がない」の割合が15.5%となっており、関心が低いという回答が74.3%を占めています。

図表 産学官連携の今後の意向 (%)



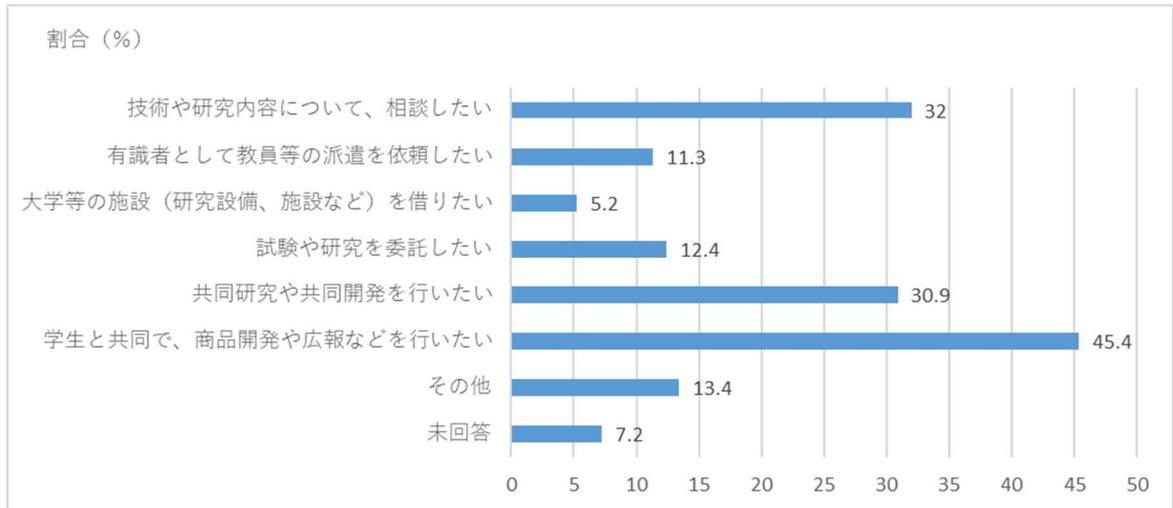
「具体的に検討している」もしくは「具体的ではないが関心がある」と回答された回答者の業種別の割合は、製造業が34%、サービス業が19.6%、農業が17.5%となっています。



問2 問1で「具体的に検討している」「具体的ではないが関心がある」と回答された方におたずねします。検討している内容や関心がある事柄をお選びください。（あてはまるものすべてに○印）

関心があると回答した97の回答者が関心のある内容は、「学生と共同で、商品開発や広報などを行いたい」が45.4%、「技術や研究内容について、相談したい」が32%、「共同研究や共同開発を行いたい」は30.9%となっています。

図表 産学連携について関心があること（%）

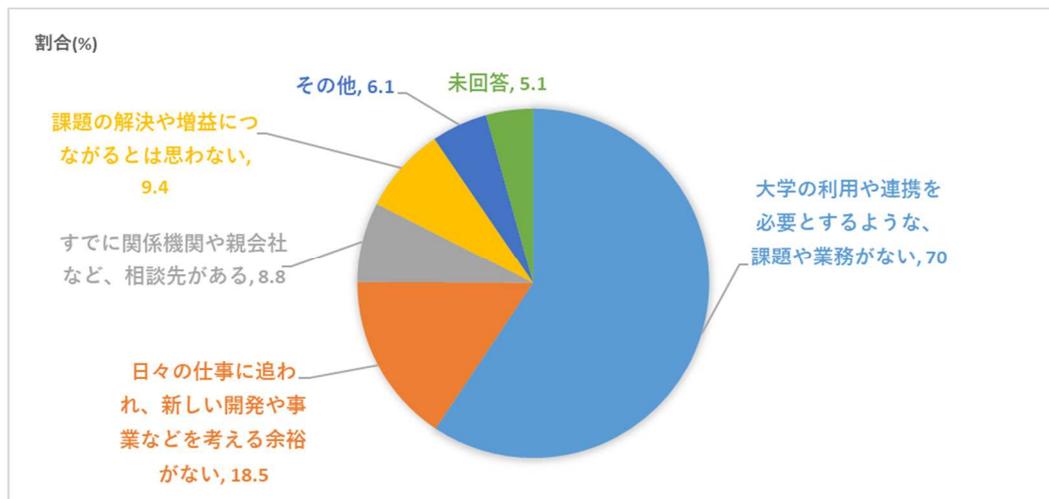


その他…求人、技術についてのアドバイスがほしい、協力できることがあればしたい など

問3 問1で「今のところはない」「関心がない」と回答された方におたずねします。理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○印）

関心が低いと回答した297の回答者のその理由は、「大学の利用や連携を必要とするような課題や業務がない」が70%と高く、「日々の仕事に追われ、新しい開発や仕事を考える余裕がない」が18.5%、「課題の解決や利益につながるとは思わない」が9.4%となっています。

図表 産学連携に関心のない理由



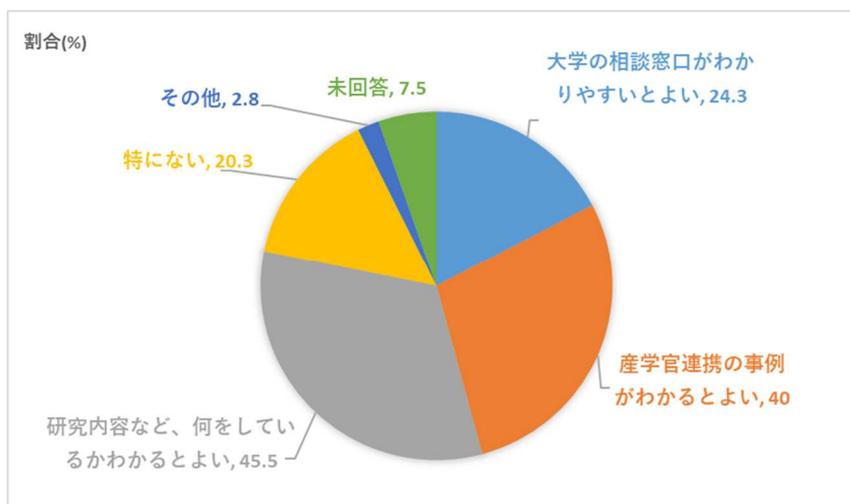
その他…専門性が高く連携先がない、高齢のため、具体的なイメージがない など

(5) 産学連携の促進のために必要なこと

問 事業者が大学などを利用・連携しやすくするために、必要なことはなんだと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

事業者が大学などを利用するために必要なこととしては、「研究内容など、大学が何をしているかわかるとよい」が45.5%と最も高く、「産学官連携の事例がわかるとよい」が40%となっています。

図表 産学連携の促進のために必要なこと (%)



その他…交流会、企業と大学のメリットデメリットの明確化、官による事業者と大学の動機付けと結び付け

(6) 市内事業者の課題や取り組みたいことなど（産学官連携に限らず）

問 あなたが、仕事において解決したいと考えているお困りごとや、新たに挑戦したいと考えていることはありますか。自由にお書きください。

72件の記述があり、いただいた意見をまとめさせていただきました。人手に関すること、技術に関することなど、多岐にわたるご意見がありました。

(1) 人手に関すること

- ・後継者がいない
- ・業界全体が人手不足
- ・廃業する

(2) 新技術に関すること

- ・製造ラインや検査工程の自動化
- ・介護ロボット
- ・養殖技術開発
- ・IoTやAIの活用
- ・データの分析
- ・スマート農業（選果、収穫や荷造りの自動化、農薬散布のドローン活用）
- ・低コスト農業用ハウスの研究開発

(3) 商品開発に関すること

- ・新しい商品の開発
- ・新素材の開発
- ・映像技術を使った新たなサービス
- ・学生と協力した商品開発への原材料提供

(4) 各業界や業務に関すること

- ・インターネットでの販売やSNSでのPR
- ・水域環境の改善
- ・若者のレジャー離れの解消
- ・機械の老朽化
- ・モチベーションの強化
- ・取り扱う材質について研究を深めたい
- ・ごみの処理方法
- ・新たな素材加工
- ・農業生産物の販売価格向上
- ・害虫対策
- ・農業ハウス内の温度上昇対策
- ・農業ボランティア集め
- ・プログラミング教室開始

(5) その他のご意見

- ・市内に大学があることは大変すばらしい。愛知工科大学は様々な行事に参加して下さる。
- ・空き家対策に専門の学生・地元工務店を交えてとりくんではどうか。
- ・産学官連携に役立つことがあれば協力したい
- ・具体的に事業はないが、研究内容などの情報はほしい